

管理No.	CN-012
作成日	2023年 6月 19日
区分	Q品質 C

**CN マガジン**

テーマ: **EU: 土壇場で覆った2035年エンジン車廃止問題**

2021.7月 欧州委員会 EU の結託

今更 HEVじゃ出遅れた!

何か日本に勝つ方法はないか?

再エネをリードEVで行きましょう

燃料燃やしちゃだめだからエンジン付きのHVもPHEVもダメね 2035年販売禁止!

極端じゃないの?

2022年10月に欧州議会とEU (欧州連合) 理事会 (閣僚理事会) がこの提案に基づく法案に合意

2023年2月には欧州議会が法案を可決

2023年3月には欧州連合理事会の最終承認

CO2を増やさない燃料ならエンジンでもいいでしょ!

待ちっよ たっ!と

合成燃料ってなんですか?

燃料を造る時に先にCO2を取り込んだもので、燃やしてもCO2総量は増えないじゃ

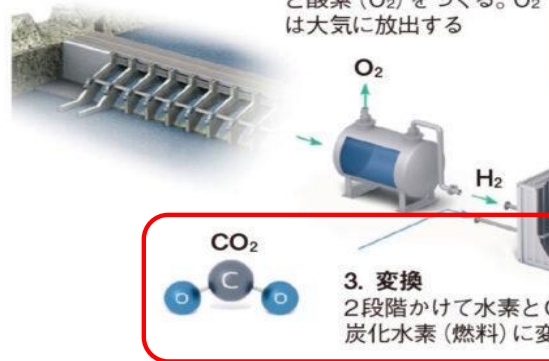
しょうがないなあ。合成燃料エンジンなら2035年以降もOK

1. 再生可能エネルギー 水力発電を利用

2. 電解 水の電気分解で水素(H<sub>2</sub>)と酸素(O<sub>2</sub>)をつくる。O<sub>2</sub>は大気に放出する



化学合成 第1段階で、逆水性ガスシフト反応で水素とCO<sub>2</sub>を一酸化炭素(CO)と水に変換する。次にフィッシャー・トロプシュ反応を用いて、COと水素から炭化水素鎖(燃料)に変換する



4. 産業や住宅で排熱を活用

4. 化粧品や食品、化学産業用の再生可能なワックス

eディーゼル (e-diesel) 燃料

4. 既存インフラの活用 eディーゼル燃料は既存の燃料給油インフラとエンジン技術を活用できる



次の課題は、『合成燃料が2035年までに普及するか?』ということ。